

令和2年度第1回本別町子ども・子育て会議 議事録
【議事概要】

日時：令和2年7月31日（金）

午後6時30分～

場所：本別町体育館 中競技室

○委嘱状交付

10人（欠席：瀧澤委員、竹村委員）

1 開 会

○町長挨拶

2 役員選出（本別町子ども・子育て会議条例 参照）

互選をどのようにするか、に「事務局案」との発声

会長：山下知子委員 副会長：川本千枝委員 了承

3 報告事項 （1）～（6）説明（留田主査） （7）（8）説明（大橋課長）

（1）仙美里へき地保育所の廃止（令和2年3月31日）

（2）北地区交流センターにおける児童の自由来館の終了（令和2年3月31日）

（3）幼児教育・保育の無償化（こども園、保育所）（令和元年10月1日）

3歳～5歳までの全ての子ども利用料が無償化

本別町は、食材料についても助成

0歳～2歳までの子どもについては、住民税非課税世帯を対象に無償化

（4）子育て世帯への臨時特別給付金

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯に対し、児童手当に

1万円を上乗せ支給

（5）ひとり親世帯特別給付金

新型コロナウイルス感染症の影響により、子育て負担や収入の減少に対する支援として、

1世帯5万円、第2子以降は一人につき3万円の加算、さらに、収入が減少した世帯に

対し5万円を追加支給

（6）第2期本別町子ども・子育て支援事業計画について【資料1】

～資料にて説明～ 説明原稿別紙

（7）本別学童保育所の移設について【資料2】

～資料にて説明～

（8）こども英語チャレンジ事業について【資料3】

就学前教育・保育施設に、英語を母国語とする外国人講師を派遣し、楽しみながら英語に触れ、国際感覚を育むことを目的に実施。

幼児期から英語に触れることの出来るまちをPRし、本別で子育てしたくなる各種施策を展開いたします。

姉妹都市でありますオーストラリアミッチェル市出身者のサマラ・クックさんを招聘し、4月から子ども未来課で勤務し、7月1日からこども園・勇足保育所にて勤務しています。

石田園長よりこども園での様子を報告

・週4回、4歳児童を受け持ってもらっている。朝はホールで3～5歳児童が遊具遊びをしているが、そこでも素敵な笑顔で遊んでもらっている。朝のお集まりの時間に『サマラタイム』を設けて英語の歌やダンスを教えてもらっている。短い曲を数曲、体を大きく使って子どもたちも楽しそう。4歳クラスに張り付いてクラスの中でもサマラタイムをとり、カードを作ってきてくれたり、ぬいぐるみを使ったり、食事も子どもたちと一緒にとっている。最初はパワーに圧倒されていた子どもたちも今は楽しく遊んでいる。これからも子どもたちと英語で楽しんでがんばってもらいたい。

山下智美委員より勇足へき地保育所での様子を報告

・自分の子どもは今4歳、こども園が夏休みなので今は毎日勇足保育所に来てくれているので「今日もサマラがいる」と嬉しそう。英語を習っているので、「これを英語でなんて言うのか、明日サマラに聞いてみたら」と促すともじもじしながらも質問しているようだ。

○質疑応答

・こども英語チャレンジ事業について

Q. サマラは何年いてもらえるのか。

A. こちらとしては3年はいてほしいと思っている。予算が理事者に認めてもらえばだが、毎年要求していく。(事務局)

4 協議事項

(仮) まちなか子育てひろば整備事業について【資料4】

～資料にて報告～ 説明原稿別紙

5 その他

(1) 本別町まち・ひと・しごと創生推進委員会委員の推薦について

企画振興課が事務局の委員会に「子ども・子育て会議」から委員を推薦

任期は、2年間

事務局：現在お願いしている小笠原委員に再度お願いしたい 了承

6 閉会